

株主の皆さまへ

第**55**期

年次報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

旅でもっとつながる世界へ。
好奇心でもっと感じる世界へ。



スマートフォン向けアプリ「マップルリンク」
電子書籍まるごと機能に対応

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の当期（第55期 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の事業活動をご報告申し上げます。

当期（第55期）の業績

当社グループにおける当連結会計年度の業績は、『まっぴるマガジン梅田』、『まっぴるマガジン富士山』といった話題性の高い商品等を投入しましたが、海外版の旅行書商品の売上減少や、新規シリーズの創刊がなかった影響もあり、市販出版物の売上高は前連結会計年度に比べ減少いたしました。電子売上においては、『マップルナビ』が軽自動車にも採用されたことでロイヤリティ収入が増加しましたが、子会社の「データ作成受託業務」等の事業を6月に事業譲渡した影響で、同事業に関する売上が大幅に減少いたしました。これにより電子売上の売上高は前連結会計年度に比べほぼ横ばいとなりました。

その他の取り組みとしましては、出版物へのデジタル付録『マップルリンク』採用商品の拡大や機能拡充等を推進するとともに、旅好きな女性に圧倒的支持を得ている『ことりっぴ』でのコミュニティサイトや、通販サイト『ことりっぴお取り寄せ』を展開してまいりました。

この結果、売上高合計は前連結会計年度に比べ5.2%減少し、138億70百万円となりました。

損益面では、市販出版物の売上減少による減益要因により売上総利益は若干の減少となりましたが、広告宣伝費、販売促進費等の減少により販売費及び一般管理費が大幅削減となり、営業利益は6億59百万円と前連結会計年度と比べ増加いたしました（前連結会計年度は営業利益2億72百万円）。これにより経常利益は6億99百万円（前連結会計年度は経常利益3億34百万円）、当期純利益は、4億33百万円（前連結会計年度は3億57百万円）となりました。



当期の配当

当社は株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけており、利益配分につきましては会社の業績や経営環境を勘案しつつ、安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。当期の利益配当金につきましては、上記基本方針を考慮し、前期同様、普通配当を1株につき20円とさせていただきます。

次期（第56期）の見通し

次期の取り組みといたしましては、『マップルリンク』の更なる機能充実を図り出版物の売上増加を目指すとともに、連携サービスの提供を進めてまいります。『マップルナビ』においては、軽自動車への採用の拡大等も見込まれております。『ことりっぴ』ブランドを活用した関連事業も広く展開していく予定であります。また、市販出版物では新シリーズの創刊を予定しております。この様な取り組みにより、ここ数年減少傾向であった売上高を増収に転換いたします。

次期の業績は、利益ベースでは前連結会計年度を下回る結果となる見込みとなっておりますが、中長期的な業績拡大には、当社グループ保有のコンテンツの強化充実や新しいサービスを実現するための技術の研究が重要であり、そのための積極投資は欠かせないものと判断しております。

このような方針のもと、次期の業績につきましては、売上高143億30百万円（前連結会計年度比3.3%増加）、経常利益1億60百万円（前連結会計年度比77.1%減少）、当期純利益1億90百万円（前連結会計年度比56.2%減少）を見込んでおります。

当社グループは、旅と好奇心で日本を元気にすること、旅を通じて紛争のない平和で豊かな世界を実現することを目指して、社会に貢献してまいります。株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

単一セグメントへの変更

当社グループの事業セグメントは、事業の中核である地図・ガイドデータベースの情報の提供方法に基づき、市販出版物を紙媒体等で提供する「出版事業」および各種データ等を電子媒体で提供する「電子事業」の2事業区分として報告してまいりました。

しかし、変化の激しい近年、出版物とスマートフォンを連動させたサービスなど、単一の媒体にとどまらない総合的なサービスの提供が重要となってきております。

このような考えのもと、提供媒体に基づく事業セグメントは適切でない判断し、当第1四半期から単一セグメントに変更してまいります。



代表取締役社長

黒田 茂夫

業績ハイライト

売上高



経常利益



当期純利益



表紙写真

菅沼合掌造り集落 (富山県南砺市)

相倉合掌造り集落や岐阜の白川郷と共にユネスコの世界遺産として登録された菅沼合掌造り集落。集落内には9戸の合掌造りが現存している。



当該エリアの出版物である『まっぴるマガジン富士山』

誌面連動アプリ『マップリンク』がさらにお得に使いやすくなりました

『まっぐるマガジン』など当社発行のガイドブックのデジタル付録で、ガイドブックの地図と情報を持ち運べる本誌ご購入者限定のスマートフォンサービス『マップリンク』がますます便利になりました。

① 電子書籍まると機能搭載

国内エリア版『まっぐるマガジン』の誌面をまるごとダウンロードできるようになりました。

家や宿泊先でのプランニング時には大きな誌面の本でじっくりお読みいただき、旅先ではスマートフォンから電子版を見て楽々街歩き。事前にチェックしておいたスポットは「お気に入り」から簡単に探し出すことができるので、旅先で検索しなおす手間を省くことができます。さらに、登録しておいた目的地への方向を指し示す機能で街歩きをサポート。『まっぐる』がより便利に、より身軽にお楽しみいただけます。



② 宿泊料金がいつでも5%現金値引き

『マップリンク』から宿泊予約を行うと当社宿泊予約サービス『マップルトラベル』で提供しているおすすめ宿泊プランがいつでも5%の現金値引きにてご利用いただけるようになりました。



(注)『マップリンク』は無料サービスですが、アプリ及び誌面のダウンロードには、各通信会社の通信料が別途かかります。

『山と高原地図』は創刊50周年を迎えました

『山と高原地図』は日本百名山はもちろん、1,500を超える日本の山々を紹介する、登山に欠かせない登山用地図シリーズです。その正確さと使いやすさから多くのかたにご愛用いただき、おかげさまでこのたび創刊50周年を迎えることができました。

『山と高原地図』には、安心して安全な登山を楽しんでいただくためのさまざまなこだわりが詰まっています。正確な情報をお届けするために登山コースの調査を実施し、毎年改訂しています。また、天気の変わりやすい山中を想定し、水にぬれても破れにくい耐水性紙を使用。2012年4月からは、現在地確認やログを取ることが可能なスマートフォンアプリ『山と高原地図』もリリース。時代にあった使いやすさを追求しています。

今後も、登山用地図や山関連書籍を通して、皆さまの安心・安全で楽しい登山を応援してまいります。



東急電鉄とコラボした『ことりっぴ 東急沿線さんぽ』発売

● 『ことりっぴ 東急沿線さんぽ』

女性に大人気の旅行ガイドブック『ことりっぴ』と東京急行電鉄株式会社（以下東急電鉄）がコラボレーションし、沿線の魅力を再発見できる『ことりっぴ 東急沿線さんぽ』を発売いたしました。

紹介するスポットは、沿線情報に詳しい東急電鉄女性スタッフのご協力も得て、ことりっぴ編集部が厳選。人気のエリアをもっと楽しむおさんぽコースや、居心地の良いカフェ、緑あふれるスポットなど、沿線にお住まいの方はもちろん、おでかけにいらした方もさらに足をのびたくなる内容となっております。

● オリジナル小冊子『ことりっぴ 東急線で行くおやこさんぽ』

『ことりっぴ 東急沿線さんぽ』本誌より、子どもと一緒に楽しめるおでかけスポットを抜粋し、制作いたしました。当冊子は、東急電鉄各駅や東急電鉄関連施設にて無料で配布されております。また、同じく無料の電子版では、電子ブックアプリ「ことりっぴアプリ」ならではの、プランニングや街歩きに役立つ機能をご利用いただけます。



当社インバウンド事業の取り組み

● 外国人向けFacebookページ

2012年11月より中国語繁体字版、2013年12月よりタイ語版のFacebookを開始し、それぞれ台湾向け、タイ向けに日本各地の観光情報をデイリーで発信しています。

ファンの数を表す「いいね！」数も、順調に推移し、台湾向けページは25万、タイ向けページは14万を超えるなど、ともに人気ページに成長しています。



● 出版物の中国語繁体字対応

2013年5月より女性に大人気の『ことりっぴ』など日本各地の魅力を伝える当社ガイドブックの中国語繁体字版を台湾の出版社である人人出版股份有限公司より台湾の現地書店にて販売を始め、2014年6月には出版物は合計16点となり人気を集めています。



● 訪日観光客向け街歩きアプリ

現在、訪日観光客向けに英語と中国語繁体字で提供しているスマートフォン向けアプリケーションは、日本各地の観光情報と地図がセットになっており、コンテンツを一度ダウンロードすればGPS通信のみで利用できる、日本観光での街歩きに最適なツールとなっております。

他企業との提携によるクーポンなどの付加価値の高いサービスも取り入れ、多くの外国人の方の訪日観光にご利用いただいています。



● 台湾人訪日観光客向け日本着地型ツアー

2013年秋より、国内旅行代理店と提携し、台湾人訪日観光客向けに、人気の高い日本の観光地をめぐる着地型ツアーを提供しています。



連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第54期	第55期
	平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	16,269	16,701
固定資産	17,526	17,290
有形固定資産	9,189	8,990
無形固定資産	5,538	4,779
投資その他の資産	2,798	3,521
資産合計	33,795	33,992
負債の部		
流動負債	3,910	3,615
固定負債	1,233	1,372
負債合計	5,143	4,987
純資産の部		
株主資本	28,300	28,401
資本金	9,903	9,903
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	8,213	8,314
自己株式	△ 524	△ 525
その他の包括利益累計額	351	603
純資産合計	28,652	29,004
負債純資産合計	33,795	33,992

連結貸借対照表のポイント

流動資産

たな卸資産や受取手形及び売掛金の減少がありましたが、現金及び預金が増加したため、流動資産は4億32百万円増加し、167億1百万円となりました。

固定資産

有形固定資産は償却が進行し、1億99百万円の減少となりました。無形固定資産はデータベース、のれんの償却の進行などを要因として、7億59百万円の減少となりました。投資その他の資産は退職給付に係る資産および投資有価証券の時価評価による増加などに伴い、7億23百万円の増加となりました。以上から固定資産は2億35百万円減少し、172億90百万円となりました。総資産は1億96百万円増加し、339億92百万円となりました。

負債

返品調整引当金が1億円、繰延税金負債（固定）が2億42百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が1億29百万円、短期借入金が1億74百万円、退職給付引当金が1億28百万円それぞれ減少したことなどによって、負債は1億55百万円減少となり、49億87百万円となりました。

純資産

剰余金の配当で3億32百万円の減少があった一方、当期純利益4億33百万円の計上により、利益剰余金が1億円の増加、その他有価証券評価差額金の1億61百万円の増加などがあり、純資産は3億52百万円増加し、290億4百万円となりました。

自己資本比率

自己資本比率は0.5ポイント増加し85.3%となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第54期	第55期
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
売上高	14,638	13,870
売上原価	10,065	9,334
返品調整引当金繰入差額	40	100
売上総利益	4,531	4,435
販売費及び一般管理費	4,259	3,776
営業利益	272	659
営業外収益	94	76
営業外費用	32	36
経常利益	334	699
特別利益	269	35
特別損失	19	2
税金等調整前当期純利益	584	732
法人税等合計	226	298
当期純利益	357	433

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第54期	第55期
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,081	2,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 771	316
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 493	△ 636
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 183	1,967
現金及び現金同等物の期首残高	8,662	8,479
現金及び現金同等物の期末残高	8,479	10,446

連結損益計算書のポイント

売上高はPNDの売上が好調に推移したこと、軽自動車にも採用されたことで「マップルナビ」のロイヤリティ収入が増加しましたが、市販出版物の売上減少や子会社の「データ作成受託業務」等の事業を6月に事業譲渡した影響もあり、前連結会計年度比5.2%減少の138億70百万円となりました。営業利益は、売上高が減少したものの、新規シリーズの創刊等がなかったことによる、広告宣伝費、販売促進費等の減少があり販売費及び一般管理費が大幅削減となり、前連結会計年度比142.3%増加の6億59百万円となりました。当期純利益は、退職給付会計における前払年金費用の計上等に伴い法人税等調整額が2億50百万円となったため、前連結会計年度比21.1%増加の4億33百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、22億87百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前当期純利益7億32百万円、減価償却費及びその他の償却費12億77百万円によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、3億16百万円の収入となりました。主な要因は無形固定資産の取得による支出が3億56百万円、投資有価証券の売却による収入5億96百万円によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、6億36百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額3億33百万円によるものです。

現金及び現金同等物の期末残高は前期末から19億67百万円増加し、104億46百万円となりました。

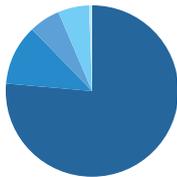
会社概要

商号	株式会社昭文社 (Shobunsha Publications, Inc.)		
創業	昭和35年5月		
本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地		
資本金	99億387万円		
従業員数	単体375人、連結462人		
事業内容	独自開発による地図データ・ガイドデータを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売や、デジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスの提供等「地図・旅行情報提供事業」を展開		
事業所	本社	東京都千代田区	名古屋営業所 名古屋千種区
	大阪支社	大阪市淀川区	福岡営業所 福岡市中央区
	制作本部	東京都江東区	東京商品センター 東京都足立区
	仙台営業所	仙台市若林区	大阪商品センター 大阪府摂津市
	横浜営業所	横浜市西区	埼玉製本センター 埼玉県加須市

株式の状況

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	17,307,750株
株主数	23,738名

所有者別株式分布状況



所有者区分	持株比率 (%)
個人・その他・自己名義	76.6
金融機関	11.2
その他の法人	5.9
外国法人等	5.8
金融商品取引業者	0.5

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日(中間配当を行う場合)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711(通話料無料)
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.mapple.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	9475

役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役社長	黒田 茂夫	常勤監査役	渡邊 裕
取締役	大野 真哉	監査役*	関 聡介
取締役	内田 次郎	監査役*	桑野 雄一郎
取締役	熊谷 隆司	*社外監査役	
取締役	清水 康史		

関係会社

キャンバスマップ株式会社	東京都千代田区
[事業内容] カーナビゲーション用地図ソフトウェアの開発・企画制作・販売	
株式会社マップル・オン	東京都千代田区
[事業内容] モバイル(携帯・スマートフォン)向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業	
株式会社昭文社デジタルソリューション	千葉県市原市
[事業内容] マッピング事業及びシステムソリューション事業	

大株主 (自己株式を除く上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
黒田 敏夫	3,574	21.49
黒田 茂夫	1,699	10.22
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	851	5.12
昭文社社員持株会	650	3.91
株式会社三井住友銀行	347	2.08
CBNY-DFA INVESTMENT TRUST COMPANY-JAPANESE SMALL COMPANY SERIES	279	1.68
株式会社ファウンダー・マップル	180	1.08
株式会社エムティーアイ	174	1.04
応用地質株式会社	160	0.96
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	134	0.80

※持株比率は自己株式(679,414株)を控除して計算しております。

株主優待のご案内

当社では、当社の事業についてより深くご理解いただきたく、株主優待制度として、平成26年3月末日現在、100株以上ご所有の株主様に3,000円相当の当社商品を進呈しております。

本年は新創刊いたしました『ことりっぴマガジン Vol.1 2014夏』、『tabitte東北』と株主様のお届出住所に該当する地域の『マックスマップル』シリーズを1冊お送りいたします。

株主優待品は7月中の発送を予定しております。

株主優待品の発送についてのお問い合わせ

株主優待事務局 (平成26年9月末日まで)
0120-770-383
(受付時間 9:00~17:00/土・日・祝日を除く)



新創刊の『ことりっぴマガジンVol.1 2014夏』

お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。